＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	義務教育課

重点戦略	Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進
戦略プログラム	多様な教育ニーズ支援プログラム
施策名	【重点】魅力ある学校づくりの推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合（小学校6年生）	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	86.1	86.4	86.7	87.0
現況値	85.6%	実績値	85.9			
目標値	87.0%	達成率（%）	99.8			
備考		達成度	3			

指標名	「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合（中学校3年生）	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	86.1	86.4	86.7	87.0
現況値	85.5%	実績値	86.8			
目標値	87.0%	達成率（%）	100.8			
備考		達成度	4			

指標名	高校生活に満足している生徒の割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	92.0	93.0	94.0	95.0
現況値	91.1%	実績値	94.7			
目標値	95.0%	達成率（%）	102.9			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・高校コーディネーターによる高校と地域の連携・協働推進事業
・生徒会による「だれもが行きたくなる学校づくり」応援プロジェクト事業

4 施策達成レベル

3.8	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

中学生が自己肯定感を高め、自己の思いを実現する場や機会を確保し、生徒たちの自由な発想で自主的な企画を立案・プレゼンすることを通して、実行力が育ち、当事者意識を育むことができた。
重点推進校および推進校への高校コーディネーターの配置や、委託業者による伴走支援の実施により、高校と自治体との連携強化が図られた。これにより、地元自治体からのより一層の協力体制が構築されるとともに、外部人材の活用が推進された。結果として、各学校や地域の特色を活かした魅力ある教育活動の創出・充実につながった。

6 今後の施策推進に向けての課題

児童生徒が自ら考え、決定できる場面を創出したり、多くの人と関わり、様々な経験や体験をすることで、自己肯定感や学ぶ意欲を育む必要がある。
魅力化への取組が進む一方、高等学校においては、高校生活に満足していない生徒も一定数存在することから、今後は指標の達成に向け、引き続き、教育活動の一層の充実を図るとともに、高校コーディネーターによる高校と地域の連携・協働推進や、コーディネーターのネットワーク構築・養成支援といった取組を一層推進していく必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

		担当部課室	人権教育・生徒指導課
重点戦略	Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進		
戦略プログラム	多様な教育ニーズ支援プログラム		
施策名	【重点】「チーム学校」による不登校等の早期支援		

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	小・中・高等学校における児童生徒1千人当たりの新規不登校児童生徒数の全国平均との比較値（全国平均を100とした場合の本県の比較値）	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	86.5	86.0	85.5	85.0
現況値	87.6	実績値	－			
目標値	85.0	達成率（%）	－			
備考	直近の2025年度実績が判明していないため、評価の対象外とする。	達成度	－			

3 関連する事業名

・スクールカウンセラー配置事業
・スクールソーシャルワーカーを活用した行動連携推進事業
・思春期サポート事業
・小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業

4 施策達成レベル

―	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

長期欠席・不登校対策に係る登校支援員や別室支援員の配置校において、不登校対策担当者を中心とした組織的な不登校対策が進むとともに、自立応援室の取組を普及することで、自立応援室設置校においては、長期欠席・不登校の児童生徒が教室復帰を果たすなどの成果が現れている。また、スクールカウンセラー等の専門家の配置及び積極的な活用、関係機関との連携した支援体制、教育相談体制や教職員研修の充実を図ることで、きめ細やかな支援につながった。

6 今後の施策推進に向けての課題

不登校児童生徒数は、小学校において依然として増加していることから、各校の不登校対策担当者を中心とした組織的対応の徹底や、自立応援室の機能強化に一層努めることが必要である。
併せて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの優秀な人材や時間数の確保も課題である。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	人権教育・生徒指導課

重点戦略	Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進
戦略プログラム	多様な教育ニーズ支援プログラム
施策名	【重点】不登校児童生徒等の学びの場の確保

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	小・中・高等学校における不登校児童生徒のうち学校内外の機関等で相談・指導等を受けた児童生徒の割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	78.8	79.2	79.6	80.0
現況値	78.1%	実績値	－			
目標値	80.0%	達成率（%）	－			
備考	直近の2025年度実績が判明していないため、評価の対象外とする。	達成度	－			

3 関連する事業名

・心の居場所推進プロジェクト
・多様な生徒を対象とした特色ある高校づくり推進事業
・高等学校における自立応援室設置促進研究事業

4 施策達成レベル

―	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

専属教員と支援員を配置し、個々の児童生徒の状況に応じた生活支援・学習支援を行うことで、自立応援室が児童生徒にとって安心できる居場所となり、欠席日数の減少や教室復帰などの成果も見られている。
　また、高校進学を目指しているが様々な理由で登校できていない中学生のために、学習等をしながら落ち着いて生活できる「新たな居場所」として、岡山県立岡山御津高等学校及び岡山県立鴨方高等学校内に教育支援センターを設置し、約60名の登録者に対して自立をサポートしている。

6 今後の施策推進に向けての課題

自立応援室での支援の取組結果を県内に発信することで、自立応援室の設置を促進するとともに、効果的な自立応援室支援の更なる普及が必要である。
高校進学を目指しているが、様々理由で登校できていない中学生の中で、市町の教育センター等にも通うことができない生徒もいる。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	高校魅力化推進室

重点戦略	Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進
戦略プログラム	多様な教育ニーズ支援プログラム
施策名	【重点】地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	コミュニティ・スクールを導入している公立学校の割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	78.0	82.0	86.0	90.0
現況値	69.8%	実績値	88.1			
目標値	90.0%	達成率（%）	112.9			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・コミュニティ・スクール伴走支援体制構築事業
・おかやま子ども応援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

コミュニティ・スクールについて豊かな知識と実践を有する者を「CSアドバイザー」として市町村や研修会に派遣、伴走支援することで、コミュニティ・スクールの導入促進や質的向上を図り、複数の市町において導入校が増加した。
未導入校に対し、コミュニティ・スクールの制度的意義や主な機能・権限、現導入校におけるメリット等を説明するとともに、導入を検討している高校に対し、先行事例の紹介や課題の共有及び方向性の協議を実施するなど導入に向けた支援を行うことで、令和8年度から新たに県立高校5校の導入が実現した。
地域学校協働本部の整備や活動に対する補助事業の実施や、アドバイザーを派遣し、地域と学校の連携・協働に対する理解促進等を図る事業の実施、教育事務所や県生涯学習センターと連携した研修会の開催等により、地域学校協働活動の体制づくりを進め、県内の全ての市町村で地域学校協働活動推進員の委嘱を行うことができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

市町村により導入率のばらつきがあることから、アドバイザーの活用等を通じて、コミュニティ・スクールの導入を推進するとともに、導入済みの自治体に対して継続的な伴走支援を行うことで、質的向上を図る必要がある。
都市部の大規模普通科高校や大規模専門高校において、導入の意義やメリットが感じられにくく、また複数の課程を持つ高校におけるコミュニティ・スクールの効果的な運営について、県内に参考事例がないため、目標達成に向け、他都道府県も含めた先行事例の収集や未導入校に対する導入支援を一層進めていく必要がある。
地域学校協働活動推進員の増加などの地域学校協働活動の体制整備を進めるとともに、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るため、伴走支援の充実を図る必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	生涯学習課

重点戦略	Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進
戦略プログラム	多様な教育ニーズ支援プログラム
施策名	【推進】家庭教育支援チーム等による家庭・地域の教育力の向上

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	家庭教育支援チームを設置している市町村数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	20	22	24	26
現況値	16市町村	実績値	22			
目標値	26市町村	達成率（%）	150.0			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	5			

3 関連する事業名

・おかやま子ども応援事業
・生き活きおかやま家庭応援団事業

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

家庭教育支援チームについて、市町村に対し、関係機関との連携や様々な機会や場を活用して働きかけることで、目標値を上回る22市町村で設置することができた。それにより、保護者等に対する多様な学習プログラムや学習機会の提供、相談対応や交流の場の提供などの家庭教育支援が充実し、家庭・地域の教育力の向上を図ることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

家庭教育支援のさらなる充実に向けて、家庭教育支援チーム未設置の市町村に対し働きかけを実施していく必要がある。また、設置済の市町村に対しても、家庭教育支援がさらに充実するように、新しい学習プログラムの作成や関係者への研修等を行い、活動を促進していく必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	特別支援教育課

重点戦略	Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進
戦略プログラム	多様な教育ニーズ支援プログラム
施策名	【推進】特別支援教育の充実

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	居住地校交流を実施した特別支援学校小学部児童の割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	54.0	56.0	58.0	60.0
現況値	51.0%	実績値	52.7			
目標値	60.0%	達成率（%）	97.6			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・小中学校等におけるインクルーシブ教育システム構築支援事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

居住地校交流については、これまで特別支援学校在籍児童生徒の副次的な籍（交流籍）の全県導入などにより、実施する学校間の児童生徒、保護者及び教職員の意識向上に一定の成果が見られる。また、インクルーシブ教育×ICT活用推進フォーラムの開催や交流籍を活用した居住地校交流実施ガイドの活用等による普及促進に努めており、今回目標指標には届かなかったが、年々割合については上昇しているため、取組の継続とともに、更なる取組の推進に努める。

6 今後の施策推進に向けての課題

交流籍を活用した居住地校交流の更なる推進のためには、小・中学校及び特別支援学校の教職員に対し、更なる理解・啓発が重要であると考えていることから、令和7年度末に好事例をもとにした理解啓発動画を2つ作成した。指導主事研修や管理職研修等において、これらの動画を積極的に活用するよう促していく必要がある。また、特別支援学校管理職に対し、特別支援学校の児童生徒の障害の状態等により、予定日の実施や直接交流が難しい場合の予備日設定又はICTを活用したオンライン交流実施などの徹底により、居住地校交流の充実を図ってまいりたい。